様式第７号（第４条関係）

斐川農村ふれあいセンター使用料減免決定通知書

年　　月　　日

　　　　住所

申請者　団体名　　　様

　　　　氏名

出雲市長　　　　　　　　　　印

　下記のとおり決定したので通知します。

|  |  |
| --- | --- |
| 利用の目的及び減免申請理由 |  |
| 利　用　期　間 | 　年　　月　　日（　　曜日）　時　分から　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日・時間　　年　　月　　日（　　曜日）　時　分まで |
| 利用者（団体）名及　び　人　数 |  |
| 使　　用　　料 | 正規の使用料　 | 減額率 | 減　額 | 減額後の使用料 |
| 　　　　　　円 | 　　　％ | 　　円 | 　　　　　　　円 |
| 承認番号及び年月日 | 承認番号　　　　第　　　　号承認年月日　　年　　月　　日 |
| 備　　　考 |  |

１ この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して３か月以内に、出雲市長に対して審査請求をすることができます。

２ 処分の取消しの訴えについては、上記１の審査請求に対する裁決を経た後でなければ提起することができませんが、次のいずれかに該当する場合は、この裁決を経ずに訴訟を提起することができます。

（１）審査請求があった日から３か月を経過しても裁決がないとき。

（２）処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の

必要があるとき。

（３）その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。

なお、上記の場合の処分の取消しの訴えは、この処分があったことを知った日の翌日から起算して６か月以内に、出雲市を被告として（訴訟において出雲市を代表する者は出雲市長となります。）、提起することができます。

３ ただし、上記の期間が経過する前に、この処分があった日の翌日から起算して１年を経過した場合は、審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することはできなくなります。なお、正当な理由があるときは、上記の期間やこの処分があった日の

翌日から起算して１年を経過した後であっても審査請求をすることや処分の取消しの

訴えを提起することが認められる場合があります。